

PL対策検討委員会2021年度報告書

PL対策推進協議会 委員長 渡辺吉明

2021年12月9日

本年度(2021年)は当対策にこれまで触れずにいた産業系機械電気製品などの本質安全 Safety2.0を基本とした企画設計～製造～品質保証の内容を付加し、最も国が注目し市場拡大し事故が多発しているリチウムイオン電池の電動工具を中心に実際にメーカー、商社、DPF、ホームセンターなどに実態把握を行ってきた。特に家庭用高級家具メーカー、ホームセンター系に大量に輸入販売している中堅商社、実際に問題のあるホームセンター経営者や担当者などの情報を得ることができた。また、労働安全衛生法と消費生活用製品に関わる安全4法などでの問題などの深堀ができた。

1. これにより取説と本体表示のチャート
2. 法律・基準、表示などの労災関連と一般消費財のマッピング
3. 大手電機メーカー製品安全責任者が作成したデジタルツールの有効性資料
4. JETと連携しSDGsの取り組みとPLの相関整理
5. 企画設計～製造・品管、品質保証などに関する具体的な項目の洗い出し。特に商社や流通小売りなどでの設計・製造に関する規定の策定方法、チェックリストの作成方法
6. リコールも流通であり管理するためのグローバル標準GS1の再確認
7. リチウムイオン電池のPSEの表示やネガティブリストに対する問題
8. 産業用機械の消費者安全対策の不備の原因と対策、とくにそれらの本体表示、トリセツなどの問題
9. それらも含め、当協議会で進めてきた表示とトリセツなどを通して客観的に事業者の体制整備のPDCAに利用できること、特にメーカーの商社化が進みこれまでの設計基準は国やPSアワードの委員などのおもっている状況ではない。彼らが納得する内容に2022版作成に着手し、より技術面での内容を掲載し2022年4月15日までに出版する。
10. 4月15日の大会に合わせ「最新！PL対策導入ガイド2022」の動画を制作、また具体的な消費者安全の取り組み事例を組み込む。
11. なお、広告表示を含め食品などについては椿さんなどと別チームを結成し別途食品版出版を2022年に行う予定である。

以上